STADIUM GOURMET

キックオフ前やハーフタイムは混雑が予想されます。お早めのご購入をお勧めします!

宮木牧場

1 FOOD

幻の豚 東京エックス豚丼
1,100円(税込)
「幻の豚」と言われる「東京エックス」を使用した贅沢な一品。特別な豚肉ならではの柔らかさと甘みをぜひ。

氷川食堂

2 FOOD

東京名物深川めし
1,200円(税込)
あさりのうま味と生姜の効いた深川煮や穴子を漁師風に豪快に! FC東京戦限定のお弁当をご堪能ください。

いきなりステーキ

3 FOOD

サーロインステーキ弁当
1,500円(税込)
ジューシーで柔らかいサーロインステーキ、食べ応え抜群の1番人気商品です!

大宮ホルモン

4 FOOD

ホルモン焼きそば
800円(税込)
一番人気のホルモンを豪快に焼きそばの上に乗せ、ソースとホルモンタレがマッチ! 一度食べたらやみつきに!

グリーンパル

5 FOOD

ナクスタカレー
1,000円(税込)
埼玉のB級グルメ! ピリ辛ひき肉の餡かけライス。ビジターサポーターの皆さま、埼玉グルメをぜひ!

キッチンカーだいちゃん

6 FOOD

ハートのベビーカステラ
500円(税込)
元パティシエが作るベビーカステラ。生地にこだわった美味しいカステラをぜひ!

ハッピーケバブ

7 FOOD

ケバブサンド
700円(税込)
2024年のスタジアムNo.1グルメのケバブが今年も出店! 食べたらみんなハッピーになるよ~♫

インどり屋

8 FOOD

そうからあげ・レギュラー
700円(税込)
全国からあげグランプリ最高金賞受賞! 草加せんべいを衣にブレンドしています。レギュラー・ビッグサイズをご用意。

さかなや

9 FOOD

モツ煮弁当
800円(税込)
銀座、品川で修行した店主がイチから丁寧に仕込みました。

梵福天カレー

10 FOOD

からあげカレー
1,000円(税込)
野菜の旨味がたっぷり溶け込んだ欧風カレー! ガリッ、ジュワの自家製鹿揚げはやみつき鉄板トッピング!!

makana

11 FOOD

イカ焼きそば
800円(税込)
千葉県外房の漁師息子として育った環境を生かし、漁師自慢の漁師飯をご提供します! そのほか海鮮串などもご用意!

特設ドリンクブース

12 FOOD

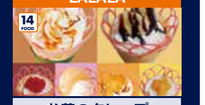
レッドブルエナジードリンク
400円(税込)
トップアスリート、多忙なプロフェッショナル、アクティブな学生など、世界中で評価をいただいています。

特設飲食売店

13 FOOD

ポップコーン
400円(税込)
ドリンクとポップコーン、チュロスなど軽食を販売します。

LALALA



14 FOOD

お花のクレープ
700円(税込)
お花の形をしたモチモチ食感クレープ。定番のチョコバナナやいちごに加え、塩キャラメルや焼きリンゴなど変わった味も。

RECOMMENDED GOODS

OFFICIAL ONLINE STORE
ご購入はこちらから▶▶▶

新商品

ステンレスタンブラー
4,180円(税込)
容量 :350ml

新商品

サーモハンドルスタイルボトル
5,720円(税込)
容量 :350ml

25 応援ネームタオル
2,420円(税込)
対象 : 全31選手

タオルマフラー(ベーシック)
1,980円(税込)

25 背番号リストバンド
1,100円(税込)
対象 : 全31選手、12 OMIYA
※ GKデザインもネイビーになります。

ガチャガチャグッズ

[勝利時限定]
ブレーヤーズ連結チャーム(ホログラム)
500円(税込)
全31種類

マッチデーグッズ

2025 ブレーヤーズクッション
< No.29 カプリーニ>
1,650円(税込)

2025 マッチデー
ボンフィンキーホルダー(4/16・FC東京)
550円(税込)

Red Bull　NTT東日本　武蔵野銀行　富士薬品　しまむら
武蔵コーポレーション　サイカンシステム　UNDER ARMOUR
アイダ設計　ARCHE　docomo　NTTファシリティーズ　オーダースーツ SADA　KODEN　埼玉トヨペット　stellar town
セブン-イレブン　TeeWeb テルウェル東日本　東武トップツアーズ　日本コムシス　Panasonic Homes　富士住建　MOVIX さいたま　MOVIMENTO

RB OMIYA ARDIJA MEMBERS LIST

①生年月日 ②身長/体重 ③利き足 ④出身地 ⑤前所属

今節の試合情報はこちらから▶▶▶▶▶▶▶

RB OMIYA ARDIJA VS FC TOKYO

2025 JリーグYBCルヴァンカップ 1stラウンド 2回戦 2025/4/16［WED］19:00 NACK5スタジアム大宮

監督
長澤 徹
Tetsu NAGASAWA
①1968/5/28
④愛媛県
⑤京都

握るぎない信念と情熱の言葉で選手たちの心をつかみ、クラブの勝利と成長を優先して日常の取り組みに全力を注ぐ指揮官。就任2年目。群雄割拠のJ2での舵取りに注目が集まる。

1 GK 笠原 昂史
Takashi KASAHARA
①1988/11/21
②191/91
③右
④埼玉県
⑤長崎

ゴール前で泰然と構え、固抜けた反応でことごとくシュートを食い止める絶対的な守護神。昨季は自身2度目となるフルタイム出場で堅守を支え、J3ベストイレブンにも選出された。

4 DF 市原 吏音
Rion ICHIHARA
アカデミー出身
①2005/7/7
②187/81
③右
④埼玉県
⑤大宮U18

守備陣を牽引する若きリーダー。人に強く、パスの精度が高く、得点感覚も備える。昨季J3ベストイレブンに輝いた世界基準の逸材は、28年ロサンゼルス五輪の主軸候補でもある。

5 DF 浦上 仁騎
Niki URAKAMI
アカデミー出身
①1996/11/11
②178/76
③左
④茨城県
⑤甲府

逆境に屈しない「雑草魂」を持ち、鋭い読み、対人の強さ、戦う姿勢でゴールを守り抜く。ルヴァンカップのいわき戦では、後半終了間際にヘディングで劇的同点弾を決めた。

6 MF 石川 俊輝
Toshiki ISHIKAWA
アカデミー出身
①1991/7/10
②174/68
③右
④埼玉県
⑤甲府

昨季は優れたボール奪取能力、高い位置からの果敢な守備、こぼれ球を逃さない決定力を存分に発揮してJ3優勝に貢献した。謙虚さと向上心を失わず、仲間からの信頼も厚い。

7 MF 小島 幹敏
Mizato KOJIMA
アカデミー出身
①1996/9/17
②178/73
③左
④埼玉県
⑤水戸

左足を駆使した芸術的なゲームメークと尽きない運動力で中盤を支配するチームの心臓。今季も中心選手として躍動し、第4節・山口戦では逆転勝利につながる貴重な同点弾を決めた。

20 DF 下口 稚葉
Wakaba SHIMOGUCHI
①1998/5/2
②178/75
③右
④福井県
⑤今治

闘志を前面に、熱く、激しく、気持ちのこもったプレーを見せるタフガイ。加入1年目の昨季は技ありのシュートで得点を奪うなど、恩師である長澤監督の下で成長し続けている。

21 GK 加藤 有輝
Yuki KATO
アカデミー出身
①1997/9/20
②188/84
③右
④埼玉県
⑤北九州

大宮のアカデミー出身のGKは、北九州への3シーズンの期限付き移籍を経て、セービングと足元の技術がパワーアップ。ルヴァンカップ・いわき戦では、PK戦で2本止めてヒーローとなった。

22 DF 茂木 力也
Rikiya MOTEGI
①1996/9/27
②175/74
③右
④埼玉県
⑤愛媛

サイドでアップダウンを繰り返し、勝負どころでは一気にゴール前へ駆け上がる攻撃的DF。球際での強さや熱いハートも自慢のファイターで、昨季はキャリアハイの5得点をマーク。

23 FW 杉本 健勇
Kenyu SUGIMOTO
①1992/11/18
②188/80
③右
④大阪府
⑤横浜FM

初めてJ3を戦った昨季はチーム最多10得点を決め、ベストイレブンにも輝いたキーマン。今季も献身性と技術が光る中、第6節・水戸戦では圧巻のスーパーボレーを決めてみせた。

26 DF 濱田 水輝
Mizuki HAMADA
①1990/5/18
②186/84
③右
④アメリカ
⑤岡山

長澤監督の哲学を深く理解している経験豊富なDF。打点の高いヘディングや体を張ったプレーで守備を引き締め、先発した開幕戦ではJ3バックを統率しつつ、先制点も記録した。

28 FW 富山 貴光
Takamitsu TOMIYAMA
①1990/12/26
②180/75
③右
④栃木県
⑤北九州

大宮の歴史を誰よりも知る在籍10年目のベテランは、攻守両面で貪欲にボールを追いかける。ルヴァンカップのいわき戦では、途中出場から延長前半に頭で今季初ゴールを決めた。

40 GK 志村 滉
Ko SHIMURA
①1996/4/27
②186/81
③右
④千葉県
⑤北九州

優れた反射神経、安定感のあるセービング、的確なコーチングで定位置返り咲きを狙うGK。どんなときもポジティブな姿勢を貫き、仲間を笑顔にする貴重なムードメーカーでもある。

41 MF 谷内田 哲平
Teppei YACHIDA
①2001/11/1
②171/69
③右
④新潟県
⑤FC安養

2列目で違いを生み出せるファンタジスタ。技巧派集団と知られる帝京長岡高などで磨き上げた高度なテクニックをベースに、味方と連係しつつパスをつなぎ、機を見て得点を狙う。

42 FW 藤井 一志
Kazushi FUJII
①2001/9/30
②174/73
③右
④兵庫県
⑤東海大

鋭翼の加速と豊富な運動量で相手の裏を突き、難しい体勢からでもゴールを奪う点取り屋。積極果敢なチェイシングも武器で、加入2年目の今季は開幕から3戦4発と量産態勢に。

44 DF 福井 啓太
Keita FUKUI
アカデミー出身
①2002/5/19
②179/75
③右
④埼玉県
⑤筑波大

小学生から高校生までアカデミーで育った生え抜きで、筑波大を経て帰ってきた期待のCB。体を張った守備でJ1対1の勝負を制し、ボールを大切につなぎビルドアップにも大きく貢献する。

45 GK 坪井 湧也
Yuya TSUBOI
①1999/8/23
②183/75
③右
④兵庫県
⑤磐田

J1王者の神戸から加入したGK。昨季の磐田に続いて2年連続で期限付き移籍となるなか、確かなシュートストップ、素早いフィード、ビルドアップを支える足元の技術で勝負する。

48 FW 磯崎 麻玖
Mark ISOZAKI
アカデミー出身
①2006/5/26
②192/80
③右
④埼玉県
⑤大宮U18

今季アカデミーからトップ昇格を果たした、強さと柔軟性を併せ持った大型FW。ボールを運ぶスピード、懐の深いキープ、決定機を確実にモノにするフィニッシュワークも長所だ。

9 FW ファビアン ゴンザレス
FABIAN GONZALEZ
①1992/11/23
②187/85
③右
④コロンビア
⑤甲府

恵まれたフィジカルで競り合いを制し、ダイナミックにゴールに迫るストライカー。守備の意識やチームメートを生かす献身性も高く、短時間でも確実に結果を残すことができる。

10 FW 豊川 雄太
Yuta TOYOKAWA
①1994/9/9
②171/68
③右
④熊本県
⑤京都

岡山、京都時代に続いて長澤監督と3度目の共闘となるアタッカー。前線からの全力プレスなどで開幕から貢献しており、第8節・大分戦で待望の加入後初ゴールを決めた。

14 MF 泉 柊椰
Toya IZUMI
①2000/12/2
②174/64
③右
④大阪府
⑤山形

個で局面を打開できるドリブラーは、ウイングバックでの需要を経験して成長し、昨季J3ベストイレブンに輝いた。完全移籍となった今季、その仕掛けは鋭さを増し、好機を量産している。

15 MF 中山 昂大
Koto NAKAYAMA
アカデミー出身
①2002/7/6
②187/79
③右
④埼玉県
⑤東洋大

昨年末、キャプテンとして東洋大の全日本大学選手権初優勝に貢献した長身のMF。ミドルシュートやロングフィードに定評があり、第2節・甲府戦では上々のJ2デビューを飾った。

16 DF 安光 将作
Shosaku YASUMITSU
①1999/11/2
②180/73
③右
④アメリカ
⑤富山

J3で鎬を削り、そろってJ2昇格を果たした富山から覚悟の完全移籍。DF登録ながら最大の武器は攻撃力で、縦にしかけてからのラストパスや精度の高いフィニッシュで歓喜を呼ぶ。

17 MF 中野 克哉
Katsuya NAKANO
①1996/9/13
②168/64
③左
④奈良県
⑤琉球

左足から繰り出すクロスやカットインシュートが特長で、両サイドだけでなく中盤の底でゲームを組み立てることもできる。常にボールに絡む積極性や明るいキャラクターも魅力。

29 FW カプリーニ
CAPRINI
①1997/11/11
②170/77
③左
④ブラジル
⑤横浜FC

独特のリズムで相手の守備網を突破しつつ、チームファーストの献身性も備える新加入FW。第3節・熊本戦では武器である強烈な左足のシュートで加入後初ゴールを記録した。

30 MF アルトゥール シルバ
ARTHUR SILVA
①1995/4/26
②180/85
③右
④ブラジル
⑤富山

的確な読みと鋭い出足で相手のボールを奪い、自らドリブルで運んで歓喜へと結びつける。今季も開幕から中盤で勝利に大きく貢献し続け、第4節・山口戦では逆転ゴールを沈めた。

31 MF 阿部 来誠
Raisei ABE
アカデミー出身
①2004/12/17
②175/71
③右
④東京都
⑤大宮U18

プロ2年目の昨季、最終節でJリーグデビューを勝ち取ったアカデミー出身のボランチ。展開力やミドルシュートが強みで、実戦経験を重ねれば一気にブレイクする可能性がある。

33 MF 和田 拓也
Takuya WADA
①1990/7/28
②170/68
③右
④神奈川県
⑤横浜FC

展開を見通すサッカーIQを誇り、洗練されたテクニックと戦術眼で「自分たちの時間」を演出する。相手の嫌がる場所でパスを受け、攻撃を組み立てながらゴールシーンにも絡む。

34 DF 村上 陽介
Yosuke MURAKAMI
アカデミー出身
①2002/2/4
②184/80
③右
④東京都
⑤明治大

大卒1年目の昨季はレギュラーに定着し、空中戦で存在感を見せた「大宮の壁」。第9節・秋田戦では、リーグ戦今季初スタメンを飾り、プロ初ゴールを決めてチームを勝利に導いた。

37 DF 関口 凱心
Kaishin SEKIGUCHI
アカデミー出身
①2001/9/24
②180/73
③右
④埼玉県
⑤山梨学院大

縦に抜けるスピード、切り返してからの左足シュート、高精度のクロスを誇る右サイドのスペシャリスト。プロ1年目の昨季は自らの同点弾でJ3優勝を決める勝負強さも見せた。

55 DF ガブリエウ
GABRIEL
①1995/3/14
②180/80
③右
④ブラジル
⑤横浜FC

昨季、横浜FCでJ1昇格を遂げた屈強な守備者が完全移籍で加入し、主将に就任。開幕から対人の強さ、足元のテクニックを存分に発揮し、高精度の縦パスでゴールも演出している。

90 FW オリオラ サンデー
ORIOLA SUNDAY
①2003/4/18
②178/73
③右
④ナイジェリア
⑤八戸

京都の福知山成美高で高校時代を過ごし、関西弁を巧みに使いこなすナイジェリア出身のFW。圧倒的なスピードが武器で、第6節・水戸戦では裏抜けから今季初ゴールを決めた。

2種登録選手

32 DF 酒井 舜哉 Shunya SAKAI ①2007/05/28 ②190/82
36 FW 平家 璃久斗 Rikuto HIRAKE ③2007/4/8 ②177/70
39 MF 神田 泰斗 Taito KANDA ④1998/5/7 ②180/68
43 MF 小林 柚希 Yuzuki KOBAYASHI ①2008/4/13 ②174/66
47 MF エドワード 真秀 Matthew EDWARD ①2008/7/21 ②181/74

2025 FAN CLUB ファンクラブ申込受付中！ ［申込受付期間］9/30(火)まで

＼RB大宮アルディージャをもっと楽しく！お得な入会特典が満載！／

チケット割引クーポン
会員限定イベント
オリジナルナップサック

1,900円×2枚
ホームゲームで使えるチケットデジタルクーポン！
※U-25会員は1枚となります。

選手とふれあえるイベントも！
※参加は事前申込、抽選となります。

その他の特典も充実！
ポイントシステム利用権
グッズ5%OFF
チケット割引&先行購入権

詳細はこちら

MATCH PREVIEW

中2日、J1勢との対戦。勝機は相手の形を「見て」戦った先に

文・戸塚 啓

大宮はJ2リーグから中2日、FC東京はJ1リーグから中4日と、スケジュールの違いがある。とはいえ、今大会の1回戦ではどちらもターンオーバーを採用している。リーグ戦で十分なプレータイムを得ていない選手たちが、モチベーション高くぶつかり合うという構図になりそうだ。

どちらも基本システムは［3-4-2-1］である。ミラーゲームになる可能性は高い。一人ひとりが目の前の相手に負けないことが、試合の主導権を握ることにつながっていく。

FC東京は守備の局面でハイプレスを仕掛けつつ、［5-2-3］に可変してブロックを作る。2ボランチの脇のスペースが狙いどころとなり、そのスペースを使われることを嫌って相手の両ウイングバックが出てきたら、今度は3バックの脇が空く。［5-4-1］のブロックを敷かれたら、［5-2-3］と対峙するよりも辛抱強くボールを動かしていく必要がある。ただ、相手の前線は1枚になるので、ボールロストからカウンターを受けるというシチュエーションにはなりにくい。

大切なのは相手を「見る」ことだ。相手の立ち位置をしっかりと見て、その時々にピッチ内でイメージを共有し、攻め筋を統一していくのである。

ホーム・NACK5スタジアム大宮では、昨季から圧倒的な勝率を誇っている。今季はリーグ、ルヴァンカップで5勝1分と負けなしだ。長澤徹監督は「自分たちさえ積極的な姿を見せれば、スタンド(の熱)とリンクしてなんでもできる感覚になる、というのは選手たちも話している」と言う。「練習は試合のように、試合は練習のように」というチームのスタンダードを表現すれば、十分に勝機は見いだせるはずだ。

FC TOKYO MEMBERS LIST

監督 松橋 力蔵

※情報は4月14日時点

Pos.	No.	名前	生年月日	身長/体重
GK	13	波多野 豪	1998/5/25	198/100
GK	31	小林 将天	2005/9/20	190/87
GK	41	野澤 大志ブランドン	2002/12/25	193/90
GK	51	渡邊 麻舟	2008/4/24	186/85
GK	52	新堀 恵太	2008/9/25	191/84
GK	58	後藤 亘	2006/5/8	192/83
DF	3	森重 真人	1987/5/21	183/80
DF	4	木本 恭生	1993/8/6	184/78
DF	5	長友 佑都	1986/9/12	170/68
DF	6	バングーナガンデ 佳史扶	2001/9/24	176/74
DF	30	岡 哲平	2001/9/6	186/83
DF	32	土肥 幹太	2004/11/10	185/75
DF	44	エンリケ トレヴィザン	1997/1/20	185/78
DF	47	木村 誠二	2001/8/24	186/80
DF	66	ペクインファン	2005/9/15	178/68
DF	99	白井 康介	1994/5/1	166/63
MF	7	安斎 颯馬	2002/9/29	175/68
MF	8	高 宇洋	1998/4/20	173/72
MF	10	東 慶悟	1990/7/20	178/72
MF	17	寺山 翼	2000/4/10	180/78
MF	18	橋本 拳人	1993/8/16	183/72
MF	22	遠藤 渓太	1997/11/22	176/73
MF	27	常盤 亨太	2002/4/9	173/70
MF	33	俵積田 晃太	2004/5/14	175/71
MF	35	塚川 孝輝	1994/7/16	184/78
MF	36	西堂 久俊	2001/3/27	180/76
MF	37	小泉 慶	1995/4/19	173/70
MF	48	荒井 悠汰	2004/6/13	175/71
MF	53	北原 槙	2009/7/7	174/66
FW	11	小柏 剛	1998/7/9	167/68
FW	14	山下 敬大	1996/3/13	185/81
FW	16	佐藤 恵允	2001/7/11	179/76
FW	19	マルセロ ヒアン	2002/6/8	188/83
FW	25	小湊 絆	2004/11/18	178/76
FW	28	野澤 零温	2003/7/21	174/70
FW	39	仲川 輝人	1992/7/27	161/57
FW	88	山口 太陽	2006/8/18	183/79
FW	98	エヴェルトン ガウディーノ	1997/3/17	177/76

FC TOKYO PICK UP PLAYER

MF 7 安斎 颯馬

ルヴァンカップ1回戦・奈良戦では、90+5分にPKを沈め、チームを2回戦進出へ導いた。今季からは、昨夏まで松本玖生が背負っていた背番号「7」を継承し、セットプレーのキッカーも任されている。主戦場は左ウイングバックだが、攻撃的なポジションならどこでもこなせる万能型。苦しい局面でも頼れる、青赤の未来を担う存在だ。 (勾坂 俊之)

2025 J.LEAGUE YBC Levain CUP

2025 JリーグYBCルヴァンカップの大会方式

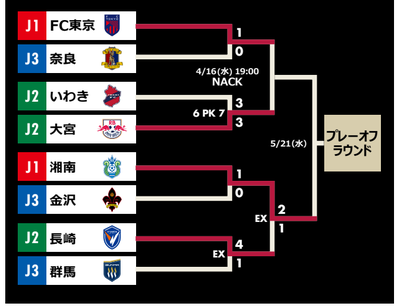
今季もJ1・J2・J3の全60クラブが参加し、トーナメント方式で開催されている。

1stラウンド 3月～5月
参加チームを7グループに分け、1試合制のノックアウト方式を行う。各グループを勝ち上がった7チームがプレーオフラウンドに進出。

プレーオフラウンド 6月
1stラウンドを勝ち上がった7チーム、およびACL2 2024/25に出場するチーム(広島)を加えた計8チームにより、ホーム&アウェイ方式の2試合を行う。勝者4チームがプライムラウンドに進出する。

プライムラウンド 9月～10月
プレーオフラウンドを勝ち上がった4チーム、およびクラブW杯2025、ACLE 2024/25に出場する4チーム(浦和、神戸、川崎F、横浜FM)を加えた計8チームにより、ホーム&アウェイのトーナメント戦を行う。決勝は1試合のみ。

※決勝の日程は未定



Q&Aコーナー

Q.ニックネームは?
A.ゆうき、かとちゃん

Q.サッカーを始めた年齢は?
A.5歳

Q.自分のプレーの特徴は?
A.攻守において幅広くプレーすること

Q.好きな海外のサッカー選手は?
A.テア シュテーゲン(バルセロナ)

Q.チームメートの意外な一面は?
A.安光はかっこいいけどかなり抜けてます

Q.○○選手のここが好きは?
A.村上陽介の壁ディフェンス

Q.好きな食べ物は?
A.奥さんの手料理

Q.今年の目標は?
A.J1昇格

2回戦進出の立役者。その能力は申し分なし

3月26日のルヴァンカップ1回戦で、今季初めてピッチに立った。前半に退場者を出しながらPK戦まで粘り、最後はこの男が相手の2本のキックを阻止して勝利をつかんだ。

アカデミーから2016年にトップチームに昇格し、プロ10年目を迎えている。2021年から2023年までは北九州へ期限付き移籍し、スタメン、サブ、ケガによるメンバー外と、さまざまな立場を経験した。

GKとしての基本的な技術は高い。シュートストップに優れるだけでなく、その後の体の立て直しがスムーズなのだ。それによって、二度、三度とシュートを浴びても反応することができる。188cmのサイズを生かしたクロス対応も、安定感がある。また、最終ラインの背後のスペースを、鋭い読みと察知力で的確に管理する。

攻撃面ではビルドアップにかかわり、ビルドアップにおけるプラス1を作り出す役割を担う。足元の技術もしっかりしている。

GKはスタメンの入れ替えが頻繁ではないポジションで、ここまでのところJ2リーグではサブの立場が多い。それでも、メンタルが揺れ動くことはない。

「毎週、毎週、メンバーに入るため、スタメンに選ばれるために準備をしている。その作業は変わりません」と話す。

その言葉どおり、日々の練習ではコンディションの良さを示している。しなやかなセービングを見せ、的確な指示でDFを動かしている。いつ出番がめぐってきても、最高のパフォーマンスを発揮できるはずだ。(戸塚 啓)

Q&Aコーナー

Q.ニックネームは?
A.にき

Q.サッカーを始めた年齢は?
A.5歳

Q.背番号へのこだわりは?
A.尊敬している岡本隆吾さんが着けていた背番号

Q.好きな食べ物は?
A.和菓子

Q.チームメートで兄にするなら誰？
A.志村

Q.チームメートと1日入れ替わるなら誰？
A.志村

Q.ホッとする瞬間は?
A.志村の笑顔を見たとき

Q.今年の目標は?
A.昇格

揺らがぬ自負を持つ男。その魂を燃やす原動力

浦上は試合前、ファン・サポーターに深くお辞儀をし、彼らからの声援を受けて自身のパワーに変える。

大宮のアカデミー出身で、東洋大学、長野、そして甲府を経て2023年に“再加入”した。クラブへの思いは人一倍強い。昨季はJ3ベストイレブンに輝き、J3優勝に大きく貢献した魂のDFだ。しかし、今季はリーグ戦の先発からは外れている状況にある。J2の舞台では勝ち切るための終盤のカードとして出場することが多いものの、「途中出場でも役割は全うできていると感じる」と自己評価。確かに、難しい途中出場でも守備を固めつつ、試合をクローズさせる仕事を完遂してきた。

とはいえ、「現状は幸せな時間ではないし、スタートから出て、勝利に貢献することが目標」だ。そのために自身にベクトルを向け、日々の鍛錬に励む。「攻撃でより違いを出せると思っているし、今、(リーグ戦で先発から)出ている選手と比べて何一つ負けているものはないと思っている」。この自負が自らを突き動かす原動力となり、それがルヴァンカップ1回戦・いわき戦での劇的同点ゴールや、120分続いた激闘の中での好プレーにつながった。数的不利になりながらも気迫のプレーを続けた浦上の活躍がなければ、このFC東京戦もなかったかもしれない。

そして迎える2回戦。先発すれば、浦上はいつもどおりファン・サポーターからの声援を浴び、それを力に変えて戦い続けるだろう。決して気負うことなく、大宮の勝利のためにすべてを捧げるはずだ。 (田中 直希)